

2011(財)交流協会
第3回中等教育機関日本語教師研修会

書くことへの指導

～話し合って、書き出そう～

大葉大学応用日語学系 荒井智子
銘傳大学応用日語学系 羅曉勤

2011/11/12 in台北
2011/11/27 in高雄

教師の立場：書く指導への悩み

- ◆ 添削が大変
- ◆ テーマの設定(なぜ、なにを)
- ◆ 学習者の上達を感じられない
- ◆ 構成や内容の指導
- ◆ 学生のやる気を引き出すのは簡単ではない
などなど



2

学習者：書くことへの悩み

- ◆ 何を、どう書けばいいかわからない
- ◆ 達成感がない
- ◆ つまらない
- ◆ 日本語の表現ができない
- ◆ なぜ、書かわからない
- ◆ 自分の言いたいことが表現できない
などなど



3

- ◆ 話し合って、書き出そう！！
- ◆ ↓
- ◆ なぜ、話し合って書き出すか

4

なぜ、話し合って書くのか？

- ◆ 読み手の存在を意識する
 - ・批判的思考力
 - ・伝達責任意識
 - ・自己修正能力
- ◆ 仲間との対話を通して学びあう喜びを感じる
 - ・社会的関係の構築
 - ・自律的学習の環境作り
- ◆ プロセスを通して、変化・成長が可視化できる

5

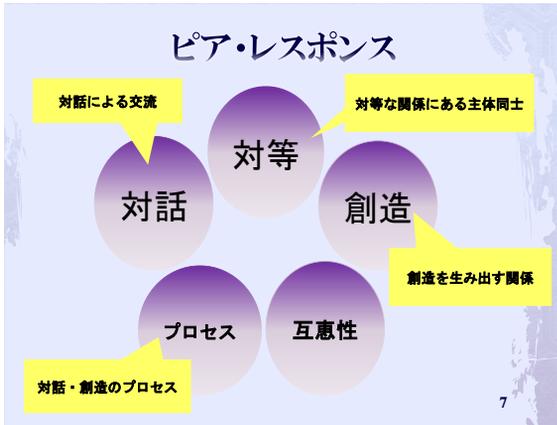
ピア・レスポンス

書くことの学習過程において、学習者が自分たちの作文をよりよいものにしていくために、仲間同士で読み合い、意見交換や情報提供を行いながら作文を完成させていく活動

(池田2004)

6

ピア・レスポンス



7

デザイン・ポイント

- ◆ 緩やかな導入
- ◆ 明確な目的と手順の提示
- ◆ 活動意義の理解
- ◆ グループ編成の工夫
- ◆ 支援者としての教師の役割
- ◆ 主体的評価活動

池田・館岡(2007)、池田(2007)

8

ワークショップ1:

居心地のよいクラスを皆で作らしましょう!

◆ 授業の目的:

- ・身近なことを題材にして、自己表現をする
- ・共同の話し合いで作品を作り上げ、その作品を展示する
- ・誰もが参加して発話する



9

ワークショップ2:

自己PRを書こう!

◆ 活動の目的:

- ◆ 進学や就職のために自己PR文を作成する

◆ 授業の目的:

- ◆ 作家－編集者の関係で、読み手への意識、そして、個人(書き手－読み手)としての責任を育てる。
- ◆ 相手に、質問や提案をしながら互いのPR文に貢献しよう。



10

自己PR文のポイント

(1) 自己PRはあなたの過去にある

「あなたがどのような人間なのか？」

→自分の過去の経験の中から、自分自身という人間を象徴するエピソードのハイライトを語る

(2) 面接のときに、質問の50%以上が自己PR

「あなたを動物に例えると何ですか」

「あなたの趣味は何ですか」

「学生時代に一番頑張ったことは何ですか」

「最近、感動したことは何ですか」

11

研修参加者からの意見

- ◆ 書くことの指導法:話し合って書こう! !
- ◆ ネットによる翻訳エンジン
- ◆ 読解能力:ピアの概念に基づく教室活動の紹介
- ◆ 検定について
- ◆ 書くことへの抵抗感を減らす→自己成長感
ピア・レスポンスで、日本語知識だけではなく、応用力・思考力などを身につけることが可能である

12

日本語教育における協働学習

- ◆ 2011年10月に「実践協働研究会」成立

<http://www2.kaiyodai.ac.jp/~orikeda/index2.html>

協働実践勉強会に加入しませんか！

目的：

- * 協働学習に関する勉強会
- * 現場の問題解決の話し合い
- * 日本語教育における協働学習の実践のわかりあい

活動：

- * 不定期に行う
- * 台北か、台中を中心に

参加者からの声へのフィードバック

- ◆ (1) 印刷文字と書く文字が違う問題
 - ◆ (2) ひらがな(い、こ、き、さ、お、む、な、ね、れ、わ)をよくかけない
 - ◆ (3) ある漢字と中国語との差異
 - ◆ (4) 書き言葉や話し言葉について
- 学習者に各自にそれぞれの違いを何個か探してきてもらい、そこで発表し、お互いにシェアしていくことも可能だと思う。そうすると、教師も学習者の問題点を把握でき、学習者自身も自己推敲能力や、自分の問題点に気づくことが可能となる。

◆ 川口義一・横溝紳一郎 (2005)『LIVE!成長する教師のための日本語教育ガイドブック』

参加者からの声へのフィードバック

- ◆ 語彙と文型に割いた時間が長いため、効率的に、有効的な方法？
 - ◆ 添削方法からテストの出題形式、教授のファンパターン(教科書の内容の説明、そこに書かれたテーマについての作文を書かせる
 - ◆ 作文能力を高める新しい「作文の」教育法
- 「話しあって書く(=ピア・レスポンス)」という方法を実施した講師の声

参加者からの声へのフィードバック

- ◆ ネット社会の中、「書くこと」の重要性への認識
- ◆ 参考サイト: 作文org.
- ◆ <http://www.sakubun.org/>
- ◆ 作品の鑑賞、インターアクションを目的とするならば、ブログの活動、メーリングリストなどなど